

問われる国際協調 —防災と感染症



外交

Vol.66
Mar./Apr. 2021

今月の表紙

新型コロナウイルスワクチンの世界的な確保競争が始まった。国際協調の方途はないのか(ライター/アフロ)

巻頭インタビュー 五百旗頭真(ひょうご 震災記念21世紀研究機構理事)

「連帯」の思想を紡ぐ — 東日本大震災から二〇年

複合災害時代の国際協力 — 震災・コロナ・気候変動から考える 水島真美(国連事務総長特別代表)

グローバル・ガバナンスからみたコロナ危機 城山英明(東京大学)

正しいリスク評価と公平なワクチン分配を 田代真人(国立感染症研究所)

ワクチン争奪戦各国の政治決断 村中璃子(医師・ジャーナリスト)

「世界の薬局」インドのワクチン開発・分配戦略 上池あつ子(中央学院大学)

38 29 24 18 12 6

FOCUS 「中国の論理」と国際社会

バイデン外交と対中政策 秋元諭宏(笹川平和財団米国)

中国海警法と拡大する国内論理 山本勝也(防衛研究所)

全人代にみる習近平指導部の自信と警戒 加茂具樹(慶應義塾大学)

中国「双循環」戦略への期待と懸念 森路未央(天来文化大学)

64 58 52 44

特別インタビュー 安倍晋三(前内閣総理大臣) 安倍外交七年八カ月を語る(連載・下)

トランプ大統領を国際協調につなぎとめた直談判

経済外交次なる一手 — 自由貿易の深化とデジタル経済のルール作り 四方敬之(外務省)

国益最大化のための経済安全保障 赤堀毅(外務省)

外交停滞で足元の強化図る金正恩 儀崎敦仁(慶應義塾大学)

呉越同舟の限界 ミャンマーのクーデター 中西嘉宏(京都大学)

ナヴァリヌイ拘束はプーチン体制を揺るがすか 駒木明義(朝日新聞)

「アラブの春」から二〇年 イスラム主義はなぜ敗北したのか 末近浩太(立命館大学)

コロナ時代の国際交流を模索する 梅本和義(国際交流基金理事)

外交文書公開から見る一九八九年の日本外交 武田悠(広島市立大学)

136 130 110 104 98 94 88 82 72

FOCUS 大統領選後のアメリカ社会

SNSとフェイクポピュリズム 山本龍彦(慶應義塾大学)

郵便・電子投票で民主主義のデジタル化は加速するか 湯浅聖道(情報セキュリティ大学院大学)

「カトリック大統領」バイデンの困難な船出 松本佐保(名古屋市立大学)

126 122 116

70 数字が語る世界経済 伊藤信悟(国際経済研究所)

138 ブックレビュー 伊藤亜聖(東京大学)

142 いまを読む5冊 山口航(帝京大学) 武見綾子(東京大学)

150 英文目次

153 IN&OUT